



May,2011
No.15

(医)サチカム会
三国丘病院

巻頭言 「このたびの震災に思う」

先ずは、東日本大震災で犠牲になられた方々、被害に遭われた方々に対して心よりお見舞い申し上げます。普段私たちは、一市民、一消費者、一家族、一社会人といった具合に何重もの環境に属して、当たり前のように生活をしている訳ですが、今回のような大災害を目の当たりにしますと、そのような関係から一時的に孤立して「生きていく」ということはどういうことか改めて考えさせられました。さて、病になるということも、災害のように一度に多くの人が巻き込まれるということを除けば、これまで多くの関係で結ばれ、自由に交流していた環境から一時孤立させられるわけで、被災者の支援の在り方から、われわれ医療人も学ぶことがあるように思います。

見通しのたたないいらだちと不安を抱えた人を前にわれわれはどうすればよいのか？ 先ずどういう支援を望んでいるか当事者に尋ねてみると、われわれに何ができる何ができないのか、できることが複数あるとすればその優先順位を決め、その段階的な目標設定とその大まかな達成時期を告げること、それを妨げる要因はどのようなもので、どう状況が変わらうのか、その対処法はあるのか等、その人が置かれている関係の網をたどりながら、遠くに光を見るように、当事者の力を信じつつ粘り強く寄り添うこと。

到底、ひとりで出来ることではなく、その人を取り巻く支援者や専門家が組織的に機能して初めて達成できることで、達成できたかどうかを評価するのは当事者です。実は、ここで述べたことは、医療の現場で普段われわれが日々実践している、あるいは実践しようとしていることではないでしょうか。今回の大震災で、われわれも改めて、弱い立場に立たされた方々を支援するプロであることを再確認しつつ、新たな気持ちで臨床の現場に向かおうと思います。

医療法人サチカム会理事長・三国丘病院院長 千頭孝史(ちかみ たかし)



病院理念
基本方針

誠意ある明るく開かれたこころの医療

1. 安全で安心できる医療を目指します。
2. 説明と同意に基づく信頼される医療を目指します。
3. 患者さまの人権を尊重し、誠実な態度で業務に励みます。
4. 研鑽に励み、質の高いチーム医療を目指します。
5. 専門的知識と経験を生かし、地域の精神保健福祉活動に協力します。

子どもの こころ

第5回

講演会報告

■今回の子どものこころは、3月24日行なわれた、サザカム会副理事長 奥野 正景（三国丘こころのクリニック院長）による地域講演会の報告です。一昨年より、三国丘こころのクリニックを主体とした、『堺市子ども医療心理研究会』を立ち上げ、堺市児童相談所など児童関連機関の精神科医、心理士をメンバーとして、クローズドなカンファレンス／セミナーを開催しておりました。この会を拡大し、地域向けにオープン参加としたのが、今回の講演会『災害後のPTSD等について』です。この2週間ほど前に東日本大震災が起り、堺市の福祉機関職員にも現地へのボランティア派遣の要請があったことを耳にし、一助になればと急遽企画したものです。

我々にもかつて阪神大震災の被災体験があり、また1996年堺市では、腸管出血性大腸菌O157による学童集団下痢症発生があり、児童らにその後起こった精神的・身体的影響を目の当たりにする経験がありました。講演者の奥野副理事長は、当時、堺市からの要請を受けて小学校へ赴き、PTSDをはじめとする児童らへの精神的影響を、長期にわたってフォローアップするというメンタルヘルス活動を行なったひとりでした。

講演後のディスカッションでは、被災した子どもたち、その保護者たちへのサポートについてだけでなく、援助する側に起こるかもしれない精神的影響、二次的トラウマへのサポートについても話題が及びました。子どもたちへの援助を、より継続的に強固にするためには、非常に重要なテーマのひとつだと思われます。急な企画でアナウンスも充分ではなく、19時半という遅い開催時間でしたが、それでも30名近い方が「子どものこころ」を思い、参加いただきました。活発な議論が交わされたと思います。

春の遠足



仙公園です。場所は、大阪城と大足へ出かけました。足ともに、春の遠足へ出かけました。病棟患者さんは、4月2日と4月7日、外来委員会でレクリエーション室と作業療法室とレク



ほくもんかんご 精神科訪問看護指導

■外来部門では、看護師、精神保健福祉士、作業療法士が精神科訪問看護指導を行なっています。患者さんの自宅に赴き、服薬管理、日常生活上の相談などをしています。患者さんが実際に入り、その家族も含めて関わることで、患者さん生活している現場に立ち、治療にプラスになると感じています。現在のところ、訪問範囲は堺市内の病院近隣に限定しております。



デイケア地域活動



■ デイケア“けやき”では、昨年10月より、すぐ近くの榎元町公園の清掃活動をしています。そもそもは、朝のプログラムで公園をウォーキングしていく、「ごみが落ちていることが多い、汚い感じがする」という声が患者さんからあがったのがきっかけでした。

スタッフから「じゃあ、きれ

いにしてみる？」と清掃を提案したところ、数人の患者さん有志が手を挙げてくれました。必要な清掃道具を徐々に揃え、プログラム表にも掲げるにつれて、メンバー間に次第に定着し始めました。最近では10名前後の参加に増え、清掃道具が足りずに、取り合いになることもあるほどです。開始当初は、拾ったごみを病院に持ち帰って処分していましたが、今は堺市役所に連絡をして回収してもらっています。ふとしたきっかけから始めたことでしたが、患者さんの社会貢献につながる機会を提供しているようです。「きれいになってすっきりする」という感想を聞くと、患者さんの達成感や効力感の向上に役立っているのだなと嬉しく感じます。我々スタッフの効力感も向上させてくれています。

(デイケア室)

入院案内

● 診療所やほかの医療機関の先生方から、入院紹介の流れについてお問い合わせが時折あります。なかには「紹介する患者さんへ何と説明してあげたらよいか」というお声もありますので、当院での手順について、この場を借りてご案内いたします。

お問合せ

- ① まずお電話ください。
精神保健福祉士(都合により
外来看護師)が対応します。
Tel 072-233-1880
Fax 072-222-1709

- ② 当院での治療・対応
が可能かどうか、お話を伺います。
そのうえで、来ていただく日時を決めさせていただきます。

- ③ 空床状況確認など、
少々時間をいただく場合には、
折り返しこちらからご連絡させていただきます。

来院・受付

- ④ 患者さまは保険証をご持参ください。受付にて新規登録いたします。紹介状(診療情報提供)も、受付にお渡しください。

予診

- ⑤ 予診：診察前に、
担当精神保健福祉士
が経緯、症状等をお伺いします。

診察

- ⑥ 診察：予診内容の確認、
診断、治療の方向性、当院での治療の可否等を含めて、診察いたします。入院に不安のある方には、病棟・病室の見学もしていただけます。

ご入院

- ⑦ 入院決定後、入院説明・手続きとなります。その後、病室までご案内いたします。

- 入院時にご用意いただくもの：印鑑(入院手続きに必要です)、衣類(普段着、下着類)、洗面・洗髪用具(洗面鏡、歯ブラシ等)、日用品(タオル、ティッシュ等)、他。その他持ち物、費用に関しては、担当者にお尋ねください。
- 当院は全館禁煙ですので、タバコは吸えません。
- 携帯電話は、院内ルールを守つていただければ使用いただけます(同意書必要)。
- 刃物・危険物等、病棟に持ち込みできない物があります。

外来案内

Information & Guidance

平成 23 年 4 月 1 日～

	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診 齊藤☆	河口☆	天富	菅谷	千頭☆	菅谷
午 後	2 診 楠部☆*	千頭☆	後藤*	齊藤☆	後藤*	河口*
午 前	1 診 千頭☆	原口	後藤	原口☆	河口	齊藤☆
午 後	原口	—	奥野☆	辻*	—	河口☆

☆：予約診察。予約は外来看護窓口でお取り下さい。

*：薬のみ診察の方。1時間ほどで第1診察室に切り替わります。

(月) 午前第2診察室は1時間程度お薬の後、

予約診察に切り替わります。

◇担当医が変更になることがあります。事前にお問い合わせください。

◇児童精神科外来：

(月) 午前 第2診察室

(水) 午後 第2診察室

(土) 午後 第2診察室 すべて予約制

【診察時間】 (月)～(土) 午前 9:00～12:00(受付は11:00まで)

午後 2:00～5:00(受付は3:30まで)

【休診日】 日曜、祝日、年末年始(12/29 午後～1/3)、創立記念日(1/4)

Access & Map



病院案内

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町1丁5番1号

TEL 072-233-1880

FAX 072-222-1709

URL <http://www1.kcn.ne.jp/~mokuno/>

●南海高野線 堺東駅下車

東出口より、南東へ徒歩約5分。

●駐車スペースが少ないため、

できるだけ電車等の公共交通機関をご利用ください。

日本医療機能評価機構
病院機能評価認定病院

- 診療科目 精神科・心療内科・神経内科・児童精神科
- 開設者 千頭孝史
- 精神科病床 144床
- 昭和36年開設
- 精神科病棟 15対1
- 看護師比率 70%以上
- 看護補助 10対1
- 完全院外調理
- 併設施設・承認等
 - ・薬剤管理指導施設
 - ・精神科作業療法施設
 - ・精神科デイケア(大規模)「けやき」
 - ・付属診療所 三国丘こころのクリニック
〔院長 奥野正景〕併設:こどもショートケア「和一なごみ」
 - ・共同生活援助・共同生活介護 グループホームえびす
 - ・臨床研修医師協力施設
 - ・清恵会医療専門学院准看護学科実習施設
 - ・白鳳女子短期大学看護学専攻実習施設
 - ・日本医療機能評価機構 病院機能評価認定病院

■ 地域精神保健活動

- ・阪奈中央リハビリテーション専門学校作業療法実習病院
- ・堺市教育委員会嘱託医
- ・堺市就学指導委員会委員
- ・大阪府立堺支援学校校医
- ・大阪市立大学医学部非常勤講師
- ・堺市こどもセンター非常勤医師
- ・近畿中央胸部疾患センターリハビリテーション学院非常勤講師
- ・大阪市嘱託医
- ・堺市嘱託医
- ・大阪府堺地域産業保健センター メンタルヘルス相談

